



田川地区平和センター

鶴岡市泉町8番57号 TEL 0235-22-1776 FAX 0235-22-1973 URL <https://ta-heiwa.com/>

編集発行
田川地区平和運動推進
労働組合センター教宣部



全国 連帯

第41回全国地区労交流会長野集会（11・13）開催される 第42回集会（9月10・11日）は、山形県尾花沢市・銀山温泉開催を計画

全国各地から長野に集結

Zoomも含め76人参加

第41回全国地区労交流会は、1

月13・14日、長野市のホテル

メルパルク長野で開催されました。

コロナ感染症の影響から2年ぶり

の開催となり、参加を含め76人が

結集し、全国で地域運動をすすめる

各地区労・団体等が報告し、運動の

継続を確認しました。

記念講演は、「満蒙開拓の史実か

ら学ぶもの」と題して満蒙開拓平和

記念館の寺沢館長さんが、全国で一

番多くの団員を送り出した長野県の

歴史的背景を述べ、「長野県民が被

害を受けた事実と同時に、中国に対

する加害の側面もあったことを忘

てはならない。」と強調し、「当時の

全体会の様子



満蒙開拓平和記念館の寺沢秀文さん



歴史的背景と昨今の情勢に通ずるものが
あり危険な状況にある」提起され
ました。満蒙開拓団に「全国で二
番目に多くの団員を送り出した山形
県の歴史的背景を考えながら」講演
を聞きました。

また第2部は、1. 沖縄の米軍基
地問題（中部地区労） 2. 福島原発
事故・汚染水問題（小名浜地区
労） 3. 関西地区生コン支部弾圧事
件（全日建労働組合） 4. JAL争
議団闘争報告、5. コロナ禍での労
働相談（神戸地区労） 6. 長崎バス
ユニオンの闘い（長崎地区労）、
7. コロナ禍の地域公共交通の現状
（私鉄長野県連）、8. 労働相談・
組織化（松本地区労）とコロナ禍で
の各地区労の多様な運動が報告され
ました。その後、現地実行委員会の
計らいで交流会が開催され懇親を深
め全国集会の良さを確認しました。

次回の第42回交流会は山形県で
の開催が要請され、12月の全国交
流集会運営委員会で決定しました。

全国地区労交流会とは

全国地区労交流会の源流

1980年7月に栃木県鬼怒川温

泉に栃木・茨城・群馬・埼玉4県の

地区労が集まった交流でした。当時

は「総評」が主催で「地域労働運動

を強めるための全国集会」が県総評

・地区労活動化、単産代表を集めて

700〜10000人規模でひらけ

れており、その下でローカルな地

区労交流として始まりました。しか

し、総評が解散する中で、1988

年に奈良県で開催された第11回集

会が、地域労働運動の最後の集会と

なりました。

総評の解散、組織の改編

その後、「労働戦線の統一」の名

の下に「総評解散・連合結成」へと

舵が切られ「県総評（労評）」「地

区労」は、「県センター」「地区労

センター」へ、さらに「センター」

から「連帯会議」などに組織・名称

を変更し、機能と運動が縮小され、

「連合一体化」の波に地域労働運動

は翻弄され、脱退する単産・単組も

あり残る地区労は孤立化を余儀なく

され

新たな出発

こうした中で、北関東で続けられ

ていた自主的な交流会が、地区労交

流の唯一の場となりました。首都

圏、信越などからも参加するよう

なり、さらに西日本の地区労にも呼

びかけ広げられました。そこで、1

998年第19回宇都宮集会開催に
あたり、名称が「全国地区労交流
会」に変更され、地区労交流会の全
国化がされました。

全国化となった第1回宇都宮集

会48人、第2回の神戸は98人、

第3回の高松は、152人と拡大

し、第6回の岡山集会では、200

人規模の集会となりました。

全国地区労交流会に移行し宇都宮

集会からは、組織実態調査が行われ

全国の地区労（継承組織）の組織と

活動の概要が集約されるようになり

ました。

各組織の現状、課題は

現在の地区労は、①総評解散後も

地区労として存続している②センタ

ー組織（継承組織）に組織変更した

が地区労時代と変わらない運動をし

ている③反戦・平和などの政治的課

題に特化した継承組織のセンターに

なっているところに分かれます。

そのため、交流会に参加する組織

がすべて共通の立場で諸課題に取り

組んで行くには難しい面もあります

が、職場・地域での労働者の組織づ

くりなしにして、労働者の権利も、

平和と民主主義、そして社会的諸課

題に対する運動を維持・発展させる

ことはできません。交流を通じて各

地の経験に学び合いながら、全国コ

ミュニティユニオンや労働運動研究

討論集会実行委員会との連携も図り

ながら組織や運動の再構築を図るこ

とが課題となっています。

《東北労働金庫鶴岡支店》
生活応援バンク
R ろうきん
鶴岡市末広町1-12
TEL22-3147
労働者のための、ふれ愛バンクです

こくみん共済 coop <全労済>
共済 ショップ 鶴岡
鶴岡市泉町8-73 TEL 23-6100
全国労働者共済生活協同組合連合会

コープは組合員みんなの力で
COOP 生活協同組合 共立社
本部 鶴岡市宝田1-3-23 TEL22-5110